

# 第6学年 道徳学習指導案

日時 平成16年11月 9日(火) 授業  
学級 6年1組 男15名女16名 計31名  
授業者 佐藤 貴子

・総合単元名 世界の人々とともに

・総合単元のねらい

世界の人々と生きていくために、日本を含めたあらゆる国の人々の風習や生活を知り、国際親善に努める心を育てる。

・総合単元的な道徳学習の構想について

子どもたちは、様々なメディアの発達により居ながらにして世界の国々の様子や抱えている問題などについて把握できるようになってきている。それによって、少なからず日本以外の国のことも意識はしている。しかし、それはあくまでよその国の問題であり自分たちには関係ないといった考えである。そこで、国際化が進むにつれて直接外国の人々と触れ合う機会も増えている今日、世界の国々や人々に対する正しい理解をもち、世界とどうかかわっていくかについて考えることは必要なことであると考え、総合単元「世界の人々とともに」を設定した。

本単元では、「出会う」の段階としてオリエンテーション「世界に目を向けて」や総合的な学習の時間で、世界中のだれもが平和で穏やかな生活をしていきたいと願っていること、そのために尽力している人たちがいることを認識させ、「深める」につなげていきたい。「深める」の段階では、実際に外国の方々との交流を通してそれぞれの文化について理解させ、歴史的背景も含めて国際親善についても考えさせたい。「生かす」の段階では、交流した外国の人たちにお礼の手紙やメールを送ったり、自分が調べた国について発表し合うことで、さらに世界の国々に目を向け、自分ができることをしていこうという実践的な態度を身に付けさせていきたい。

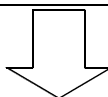
子どもたちの国際理解にかかわる実態を知るために、意識調査を行った。結果は以下の通りである。

「国際理解」に関する意識調査		(調査人数 6年生 62名)	
1	日本以外で気になる国はありますか。		
	・ある 35名	・ない 27名	
	それはどこの国ですか。(理由)		
	アメリカ...広い土地だから	イラク...戦争が起きていたから	
	いろいろな人が集まっているから	北朝鮮...拉致問題などでニュースにな	
	知り合いの人がいるから	っていたから	
	近くにアメリカ人がいるから	韓国...いところが住んでいるから	
	1度行って楽しかったから	エジプト...ピラミッドをみたいから	
	中国...日本に近い国だから	イギリス...好きな小説の場所だから	
	歴史があるから	ギリシャ...オリンピックをしていたから	
	歴史学習で日本とのかかわりが深かったから		
2	日本人以外で、話したことのある外国人はいますか。		
	・いる 44名	・いない 17名	
	それはどこの国の人ですか。(複数回答)		
	アメリカ 36名	中国 13名	ドイツ 2名
	オーストラリア 1名	フランス 1名	イギリス 1名
	ベトナム 1名	韓国 1名	エクアドル 1名
	ブラジル 1名		
3	日本以外の国々について感じることを書きましょう。		
	・戦争やテロなど怖いことが多い。	・たくさんの方が犠牲になっていてかわいそう。	
	・日本と似ていることもある。	・貧しい人たちもたくさんいる。	
	・日本とは、文化も生活習慣も違う。	・おもしろそうなことがたくさんある。	
4	世界中の人が楽しく過ごすために自分ができることを考えてみよう。		
	・少しでも募金をする。	・言葉を覚えて、話をしたり交流する。	
	・違う国のことをもっと知る。	・差別をしない。	
	・食料などを送る。	・日本のことを広めていく。	

意識調査の結果から、日本以外の国について関心をもっている児童がみられた。また、多くの児童が外国人と話をしたことがあると答えた。それは、ALTの方との交流とは別に、「近くに住んでいる人がいる」や「親戚の友だちにいる」など外国人を身近に感じている児童もいた。しかし、それは表面的なことであり、実際にそれらの国々の文化や習慣などについて知ろう、日本のことを伝えていこうとする意識はまだ弱いように思われる。

・総合単元の構想

段階	時期	意識の流れ	教科	特別活動	日常生活	家庭・地域
出 会 う	10月 3週	<ul style="list-style-type: none"> <li>世界にはたくさん の国があるん だね。</li> <li>知らない国がた くさんあるな。 どんな国なん だろう。</li> </ul>		<b>オリエンテーション</b> <b>「世界に目を向けて」</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>世界の国々の様子を 知り、人々とかか わっていきこうと する意識をもた せる。</li> </ul> 心のノート P100,101		
	10月 4週	<ul style="list-style-type: none"> <li>世界には大変な ことがたくさん あるんだな。</li> <li>深刻な問題があ るね。</li> </ul>		<b>総合的な学習の時間</b> <b>「Meet the World」</b> インターネット活用 ・インターネットを 活用し、世界の 国々の様子や抱 えている問題な どに気付かせる	<b>朝の会</b> <b>「スピーチ タイム」</b> ・世界のニュー スで、気になっ たことをスピー チすることで、 世界に目を向け させる。	
	11月 2週	<ul style="list-style-type: none"> <li>インドの人々は 大変なんだな。</li> <li>人のためにつく すなんてすごい な。</li> </ul>		<b>道徳の時間（本時）</b> 主題名 社会のために つくす 4 - (4) 勤労、社会奉 仕 資料名 「マザー・テレサ」 ねらい 一人の活動が 世界へ広がる素 晴らしさを知っ て、思いやりや 優しさ、愛の心 を生かし、社会 のために尽くさ うとする気持ちを 育てる。		
深 め る	11月 3週	<ul style="list-style-type: none"> <li>実際に会話でき て、うれしいな。</li> <li>日本と似ている ところ、変わっ ているところい ろあるんだな あ。</li> <li>もっと調べてみ たいな。</li> </ul>		<b>外国人との交流</b> ・外国人との交流 を通して、それ ぞれの国の文化 や風習を知り、 理解を深めさせ る。		
	11月 3週	<ul style="list-style-type: none"> <li>想像もつかない 時代があったん だな。</li> <li>二度と起きてほ しくないな。</li> </ul>	<b>社会</b> <b>「戦争から平和へ の歩みを見直そう」</b> ・戦中、戦後の 時代の学習を通 して、平和への 意識を高めさせ る。			
	11月 4週	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本とアメリカ にこんなつなが りがあったんだ よ。この国とも 仲よくしてい かなくてはいけ ないな。</li> </ul>		<b>道徳の時間</b> 主題名 親善への 努力 4 - (8) 国際理 解と親善 資料名 「友情の 人形」 (出典： 教育出版) ねらい 日本人 としての自覚を もって、世界の 人々との心の 交流に努めよう とする心情を深 める。		
生 か す	12月 1週	<ul style="list-style-type: none"> <li>さまざまな国の ことがわかった ね。</li> <li>自分たちにでき ることをしてい こう。</li> </ul>		<b>手紙を書く</b> ・交流に来てく ださった人た ちに手紙やメー ルを出すこと で、さらなる交 流をはからせ る。	<b>高学団集会</b> <b>「知らせよう世 界の国々」</b> ・自分が興味を もち、調べた国 について発表し 合うことで、理 解を深める。	



外国の文化や風習について理解し、進んで交流をしようとする子ども

## ・本時の指導

1 主題名 社会のためにつくす 4 - ( 4 ) 勤労、社会奉仕

2 資料名 「マザー・テレサ」 ( 出典 : 「みんなのどうとく」学研 )

### 3 ねらい

一人の活動が世界へ広がる素晴らしさを知って、思いやりやさしさ、愛の心を生かし、社会のために尽くそうとする気持ちを育てる。

### 4 主題設定の理由

#### (1) ねらいとする価値について

指導内容高学年の4 - ( 4 ) は、「働くことの意義を理解し、社会に奉仕する喜びを知って公共のための役に立つことをする。」である。これは、勤労が自分のためだけでなく、社会生活を支えるものであることを理解し、社会へ役立つ活動に積極的に取り組む態度を育てようとする内容項目である。

人間は共同生活を営んでいる。一人一人が社会の一員として自分たちができることを行うことで社会生活が維持されている。その中で、得られる喜びを基に、さらなる社会奉仕へと意識が高まっていくと考えられる。

この時期の児童は、人を思う優しさや思いやりの気持ちをもっている。さらに、人のために何かをしてあげたい、役に立ちたいという奉仕の意識も芽生えている。しかし、それを表現する勇気がなかったり、どのように行動すればよいかわからず、自分から進んで働いたり行動したりできないことが多い。嫌がる訳ではないが、頼まれたから、言われたから仕方なくやるといった姿勢が見られる。

そこで本時では、「出会う」段階の道德の時間として社会奉仕の大切さや奉仕する喜びに気付かせ、自ら進んで行動していこうとする心情を育てることが必要であると考え、本主題を設定した。

#### (2) 児童の実態について

子どもたちは、これまでにリサイクル活動や募金活動など地域や学校での活動に参加してきている。ユニセフ募金については、募金されたお金がどんなことに役立つのかも知った上で行ってきた。また、自主的に自然保護の活動に参加している子もいる。5年生の総合的な学習の時間のボランティアについての学習では、キャップハンディーや老人介護施設への訪問を体験してきた。しかし、これらの活動は決められてやることが多く、まだまだ自発的なものにはなっていないのが実際のところである。

意識調査では、多くの子どもたちが様々な問題を抱えている国々に関心を示した。その中で、「貧しい暮らしをしている人たちのために募金をしてあげよう。」「飢えて苦しんでいる人のために食料を送ってあげよう。」といった考えもあり、自分たちなりに社会のためにできることを考えてはいた。

そこで、だれに対してもやさしさと思いやりをもって接することの大切さや社会の役に立つことに喜びがあることに気付かせ、自分から進んで行動しようとする気持ちをもたせていきたい。

#### (3) 資料について

本資料は、ノーベル平和賞を受けたマザー・テレサの話である。少女時代から修道女になると決めていたテレサは、18才でインドに渡った。女学校の校長をまかされたテレサであったが、町の貧しい人々の暮らしを知り校長を辞め、ボランティア活動を始める決心をした。マザー・テレサと呼ばれるようになったテレサは、「死を待つ人の家」「孤児の家」などを開き、貧しい人々のために尽くした。最初は一人でボランティア活動を始めたテレサであったが、功績が認められ、ノーベル平和賞を授賞するといった内容である。

本資料では、人びとの悲惨な暮らしに心を痛めたテレサの思いを感じ取らせ、だれに言われたからでもなく一人きりで活動を始めた素晴らしい行動力にふれたい。世の中で苦しんでいる人たちに、すべてを捧げるといふテレサの行動を通して、物質的に豊かな日本で育ってきた子どもたちに本当の豊かさとは何かを考えさせ、社会に役立つことの尊さに気付くことができる適切な資料である。

### 5 「心に響く道德の時間」における指導法の工夫(仮説・・・手立て2とのかかわり)

ねらいに迫るために、次のような手立てを考えた。

<話し合い活動を取り入れた展開>

・自分の考えをもちグループでの話し合いをすることで、互いに考えを深め合い価値に近づけていきたい。

<書く活動を取り入れた展開>

・展開後段で、「これまでに社会に役立つことでしてきたこと」を書くことにより、自分をしっかりと見つめさせたい。

6 資料分析図

場 面	登場人物の心の動き	子どもの意識	発問の意図 / 発問
<p>修道女になることを志してきたテレサは、18才でインドへ渡った。2年後、女学校の校長をまかされた。しかし、町の人々の悲惨な暮らしを目の当たりにし、38才で校長を辞め、貧しい人々のための活動を始めた。</p>	<p>(マザー・テレサ)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・町には貧しい人がたくさんいる。何かできることはないか。</li> <li>・家のない人や、ハンセン病で家を追われた人々を何とかしてあげたい。</li> <li>・貧しい人たちのために私ができることをしてあげたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ どうしてこんなに貧しい人たちがいるのだろう。</li> <li>・ 町の状況を知って驚いたろうな。</li> <li>・ 何かをしてあげたいと思っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 町の人々の貧しい暮らしや悲惨さに心を痛み、決心したテレサの気持ちに気がさせる。</li> </ul> <p style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">○この話で、一番心を動かされたのはどこですか。</p>
<p>テレサは、貧しさから抜け出すためには教育を受けさせることが大切と考え、たった一人で青空教室を開いた。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 協力してくれる人はいないが、できるだけのことをしてあげたい。</li> <li>・ 貧しさから抜け出させてあげたい。</li> <li>・ 少しでも多くの子どもたちに教育を受けさせたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 一人で心細かったかもしれないね。</li> <li>・ 少しでも多くの子どもたちに教育をしてあげたかったんだろう。</li> <li>・ 自分一人でもできるだけのことをしてあげたかったんだな。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 行動力のすばらしさに気がさせる。</li> </ul> <p style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">心を動かされたのはなぜですか。</p>
<p>一人で始めた活動であったが、女学校の教え子が協力してくれるようになった。テレサは、親しみとうやまいをこめて「マザー・テレサ」と呼ばれるようになった。テレサは、「死を待つ人の家」、「孤児の家」、「希望の家」などを開設し、人々のために尽くした。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 助かる見込みがなくても、最後まで見届けてあげたい。</li> <li>・ 路上で死に、そのままにされるなんて、耐えられない。</li> <li>・ 貧しい人たちも心安らかに死をむかえさせてあげたい。</li> <li>・ 人は誰でも大切にしないではいけない。</li> <li>・ 誰にも愛されないなんて、かわいそうだ。</li> <li>・ 愛をもって人に接することが大事だ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ このまま黙って見てはもらえなかったのだろう。</li> <li>・ 少しでも力になりたかったのだろうな。</li> <li>・ 苦しんでいる人々を助けたかったんだろうな。</li> <li>・ 自分ができるだけのことをしてあげたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ それぞれの施設の開設には、テレサの強い思いがあることをつかませる。</li> </ul> <p style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">どんな思いをもって、テレサは長い間活動を続けてきたのでしょうか。</p>
<p>テレサの活動が認められ、1979年ノーベル平和賞を受賞した。授賞式、テレサはいつものサリーとサンダル姿で出席し、貧しい人びとに代わって...、貧しい人々のために...とあいさつをした。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 人の命の大切さを伝えたい。</li> <li>・ 誰にでも思いやりの心をもって接することが大事だ。</li> <li>・ 心も豊かであってほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ いつでも自分のことだけでなく、貧しい人たちのことを考えているんだな。</li> <li>・ テレサのメッセージを聞いて、考えることがあるな。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ テレサの活動や授賞式の挨拶などから、本当の豊かさについて考えさせる。その際に、話し合い活動を取り入れ、深めさせる。</li> </ul> <p style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">マザー・テレサの活動が世界に広がっていったのはどうしてだと思いますか。</p>

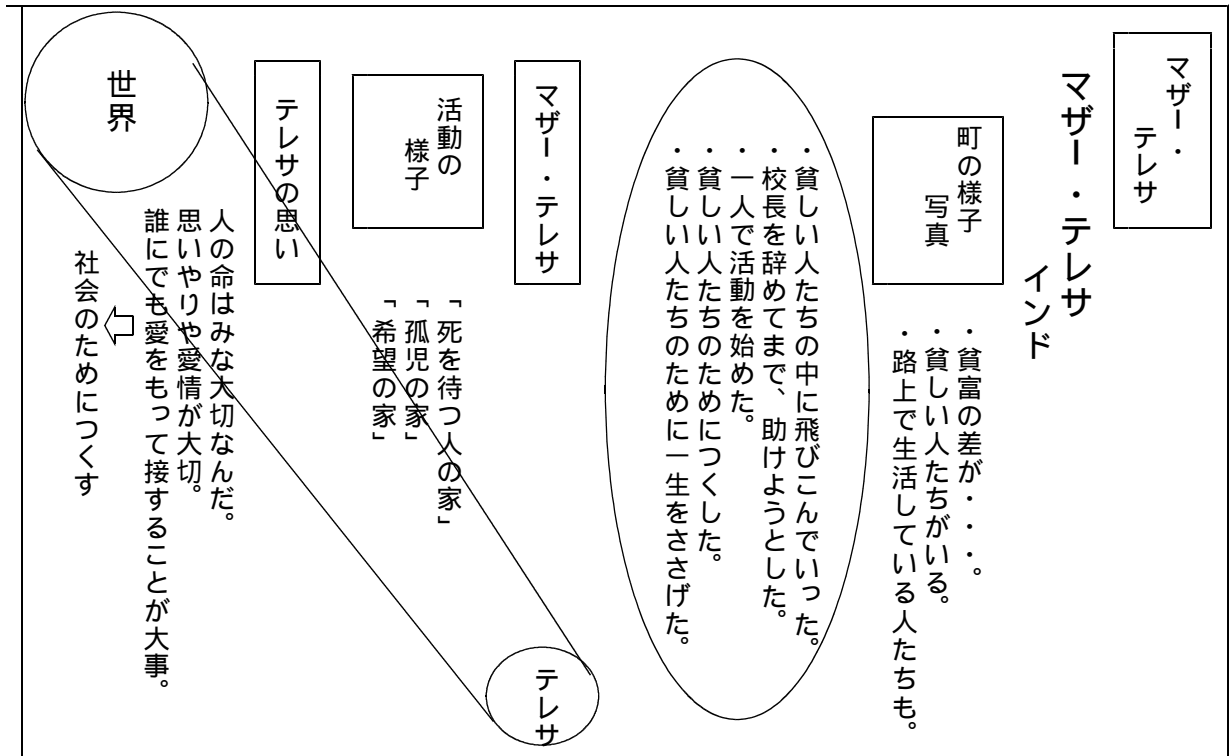
## 7 展開

段階	学習の流れ	予想される児童の反応	支援の手立てと評価の観点
導入 5分	1 マザー・テレサについて知っていることを発表し合う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・図書室に本があった。</li> <li>・ノーベル平和賞を受賞した人だ。</li> <li>・インドの人たちのために尽くした人だ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・マザー・テレサの写真を提示しながら、資料への方向付けをする。</li> </ul>
展開 前 段	2 資料「マザー・テレサ」を読み、話し合う。		<ul style="list-style-type: none"> <li>・町の人々の貧しさ、悲惨な暮らしぶりを押さえさせ、心を痛めたテレサの思いに迫らせたい。</li> <li>・自分一人きりで活動を始めたテレサの決断力と行動力から、自分でやろうと決め、行動を起こすことの大切さに気付かせたい。</li> <li>・それぞれの施設が、何のために建てられたのかも押さえさせたい。</li> <li>・「助かる見こみのない病人に貸すベッドはない。」と言われた時のテレサの態度から、愛をもって人に接することに気付かせたい。</li> <li>・自分の考えをもたせた後、話し合い活動を通して本当の豊かさとは何か考えさせたい。</li> </ul>
	この話で、一番心を動かされたのはどこですか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・貧しい人たちのために、活動を始めたことです。</li> <li>・助かる見込みのないような人を助けたことです。</li> <li>・平和賞を受賞したことです。</li> </ul>	
	心を動かされたのはなぜですか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校長先生を辞めてまで、助けようとしていたから。</li> <li>・一人ででも活動を始めた。</li> <li>・貧しい人たちのためにつくしたから。</li> </ul>	
	どんな思いをもって、テレサは長い間活動を続けてきたのでしょうか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・貧しい人たちを何とかしてあげたい。</li> <li>・少しでも人を助けたい。</li> <li>・人はだれでも大切にしなければいけない。</li> <li>・愛をもって人に接していきたい。</li> </ul>	
	マザー・テレサの活動が世界に広がっていったのはどうしてだと思いますか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・テレサに協力してくれる人が増えたから。</li> <li>・テレサの思いが伝わったから。</li> <li>・テレサの考えが認められたから。</li> </ul>	
展開 後段 10分	3 本時の価値に照らして、これまでの自分の生活について考える。		<ul style="list-style-type: none"> <li>・今までの自分の考えや行動を振り返らせながら、今後の実践へと結び付けさせたい。</li> </ul>
	あなたがこれまでに社会に役立つことでしてきたことはどんなことですか。どんな思いでしてきましたか。		<ul style="list-style-type: none"> <li>・(評)本時の価値を今までの自分に照らし合わせて、自分を見つめることができたか。</li> </ul>
終末 5分	4 ゲストティーチャーの話聞く。		<ul style="list-style-type: none"> <li>・身近に他の国で社会に役立つ活動をしている人がいることを知り、実践への意欲付けを図る。</li> </ul>

## 8 評価

誰に対してもやさしさと思いやりの気持ちをもって、社会のためにできることをしていこうとする気持ちが高まったか。

9 板書計画



10 道徳ノート

道徳ノート

名前

「マザー・テレサ」

マザー・テレサの思いとは？

あなたがこれまでに社会に役立つこととしてきたことは  
 どんなことですか。どんな思いでしてきましたか。

---



---



---



---



---

今日の学習をふりかえって ( ) ( )

友達の話をよく聞くことができたか		
自分の考えを発表することができたか		
自分の生活をふりかえることができたか		